

平成 24 年 3 月 5 日

西脇市長 來 住 壽 一 様

西脇市上下水道事業審議会  
会 長 長 峯 純 一

「西脇市水道ビジョン」について（答申）

本審議会は、平成 23 年 6 月 21 日に市長から諮問のあった「西脇市水道ビジョン」に対して、西脇市水道事業の現状を踏まえ、サービス向上と安全で衛生的な生活環境の構築を図るため、今後の西脇市水道事業のあり方、施設の統廃合を含めた老朽化施設の更新や高度浄水処理化等の整備方針及び実施スケジュールについて審議を重ねた結果、妥当であるとの結論を得ましたので、下記の意見を付して答申します。

なお、この「西脇市水道ビジョン」の実施にあたっては、審議における各委員の意見について十分に留意し、計画の実現に努められるよう要望します。

## 記

### 1 水需要の動向と実現方策について

西脇市の水道事業には、高度浄水処理施設の整備、水源の確保、簡易水道の統合、老朽化施設の統廃合など、多くの課題があります。

このような状況の中で、「西脇市水道ビジョン」で定める安心で安定した水道水供給のための高度浄水処理化や兵庫県営水道からの受水による多水源化、既存施設の更新計画、そして春日浄水場、芳田浄水場及び童子山配水池の廃止など、その整備方針は妥当であると考えます。

しかし一方で、少子高齢化、地域人口の減少傾向、日本経済の低迷などの社会情勢の変化により、今後水需要の減少が予想されます。

したがって、刻々と変わるこの社会情勢に応じて、施設整備方針を常に見直していくことが肝要になるとともに、水需要拡大につながる新規産業誘致等の積極的かつ戦略的な施策展開が必要です。

### 2 施設管理について

施設管理についても、社会情勢の変化に応じて、より効率的な管理により生産コストを縮減するとともに、更なる民間委託の検討を行い、管理コストの低減化を図ることが必要です。

### 3 料金統一及び簡易水道統合について

平成 22 年 10 月の上下水道料金改定により、市内の下水道使用料は統一されましたが、水道料金は西脇地区と黒田庄地区とで未だ統一されていません。

一方、西脇地区の水道においても簡易水道事業が水道事業に統合されておらず、サービスの統合ができていない状況です。

前回の「上下水道事業の経営の健全化について」の答申における要望事項であげていましたように、市内の水道料金の統一に向けて取り組まれるとともに、簡易水道事業の水道事業への早期統合を再度要望します。

### 4 財政計画について

前段の水需要の動向でも述べましたように、今後水需要が減少し、それに伴い料金収入も減少することが想定されます。

一方、整備方針で述べたとおり、多くの課題を克服するための整備に関する投資も増えていき、その結果、平成 29 年度以降は収益的収支が赤字となり、その欠損金が累積されていく状況が予測されます。

したがって、今後の社会情勢や水需要の変化に対応して、整備方針及び施設管理を見直し、事業の合理化を徹底することにより、経費を削減した上で、適正な料金設定を行い、健全な経営計画を立てていくことが必要です。